

WEEKLY SIGNAL

2020年1月31日(金) 1510号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	2/3(月)	2/4(火)	2/5(水)	2/6(木)	2/7(金)
無担保O/N			△ 0.087% ~ 0.001%		
銀行券	+ 900	+ 1,000	+ 1,000	トシ	トシ
財政他	△ 31,100	△ 72,000	△ 26,000	+ 3,000	△ 10,000
資金需給	△ 30,200	△ 71,000	△ 25,000	+ 3,000	△ 10,000
主要要因	国債発行(2年) 国庫短期証券発行・償還(3M)	法人税・消費税・保険揚げ	国債発行(10年)		国債発行(30年)
オペ期日	補完供給 + 200				
オペスタート					
(日本)	自動車販売台数(前年比)(1月)	マネジャーベース(前年比)(1月) 日銀営業毎旬報告 (1月31日現在)	若田部日銀副総裁、 講演・記者会見(松山市)	政井日銀審議委員、 講演・記者会見(奈良市)	毎月勤労統計 家計支出(前年比)(12月) 景気先行CI指数(12月) 景気一致指数(12月)
(海外)	米 アトランタ連銀総裁、講演 米 自動車販売(1月) 米 ISM製造業景況指数(1月) ユーロ圏 製造業PMI(1月)	米 製造業受注(12月) ユーロ圏 PPI(12月)	米 ADP雇用統計(1月) 米 貿易収支(12月) 米 ISM非製造業総合景況指数(1月) ユーロ圏 総合PMI(1月) ユーロ圏 サービス業PMI(1月) ユーロ圏 小売売上高(12月)	米 ダラス連銀総裁、講演 米 新規失業保険申請件数 (2月1日終了週) 米 労働生産性(10-12月) 欧 ラガルドECB総裁、講演 欧 ECB経済報告	米 雇用統計(1月) 米 卸売在庫(12月) 米 消費者信用残高(12月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.010 ~ 0.020
SPOT 2M	△0.010 ~ 0.040
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.070
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.130

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初401兆400億円から始まり、週末にかけて国庫短期証券・国債買入オペや財政等要因により徐々に増加し、403兆2,900億円を越えた。無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.019%から始まったものの、月末にかけて調達意欲が徐々に弱まり、31日には△0.039%となった。ターム物は、1~2Wのショートタームを中心に△0.015~△0.010%の出が見られた。29日、FRBはFOMCで政策金利の誘導目標を、年1.50~1.75%で維持することを決定した。政策金利の据え置きは2019年12月から2会合連続となった。来週の主な予定は若田部日銀副総裁の講演(5日)、政井日銀審議委員の講演(6日)、海外ではラガルドECB総裁の講演、ECB経済報告(6日)がある。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.003 ~ 0.000
TDB 3M	△0.150 ~ △0.100
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆6,300億円で、週間償還額(約1兆7,000億円)を下回った。月末日の償還(約1兆5,400億円)に対し、発行は1兆900億円程度にとどまり、償還超となった。発行残高は、先週末の22兆7,006億円から30日時点では約22兆8,200億円強となった模様。発行レートは、概ね0%近辺の出合いであった。28日に、CP等買入れオペが予定通り2,500億円オファーされ、結果は按分レート△0.001%・平均落札レート0.002%(前回:按分レート△0.001%・平均落札レート0.000%)であった。来週の発行市場は5・10日発行もあり、週間償還額の約4,700億円を上回る活況なマーケットを予想する。今週同様、3月期末を見据えて期内物中心の発行案件が中心になると思われる。発行レートは、市場残高が高水準で推移していることもあり0%近辺の出合いと思われる。また、発行頻度の高い銘柄ではプラスレートでの出合いとだろう。

<TDB>

31日のTDB3M物885回債(5月7日償還)入札結果は、最高落札利回り△0.1203%(前回債△0.1162%)、平均落札利回り△0.1257%(同△0.1222%)となり、入札後は△0.13%~△0.14%のレンジで取引された。そのほかセカンダリーでは3M884回債(4月27日償還)が△0.12%台で出合いが見られた。また1Y882回債(1月20日償還)が週初△0.145%で取引され、週末に向けて買い向かう動きが見られ、△0.18%まで出合いが見られた。来週は6日に6M、7日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

足許GC取引は、週初△0.08%~△0.065%での出合い。週末にかけてレートは低下し、一時△0.1%台半ばでの取引も行われた。週末には短国3Mの入札があり、2月3日受渡しの取引においては、レートが上昇し△0.08%~△0.06%での取引が中心となった。SC取引は10年357回債が△0.1%台後半~前半で取引された他、2年405~408回債、5年137~142回債、10年336~356回債、30年59~65回債、40年9・12回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。